



奈良県経済の概況

一部の動きに明るさがみられるものの、横ばいの状態

個人消費 百貨店・スーパー販売額は前年同月比6か月連続の減少

住宅着工 新設住宅着工戸数は前年同月比3か月ぶりの増加

公共投資 公共工事請負金額は前年同月比2か月連続の増加

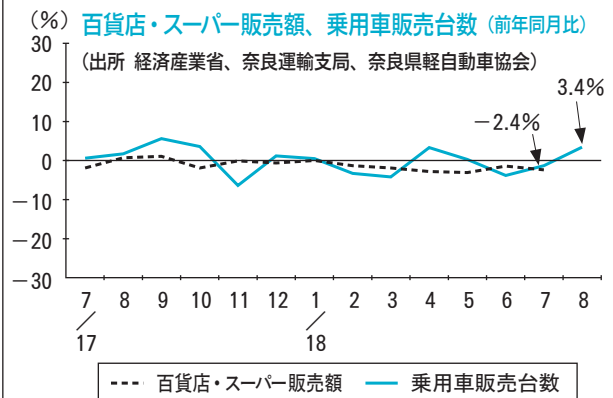
雇用情勢 有効求人倍率は前月比0.01ポイント上昇の1.48倍

企業倒産 倒産件数は3か月ぶりの二桁台

生産活動 鉱工業生産指数は前月比3か月ぶりの上昇

1 個人消費

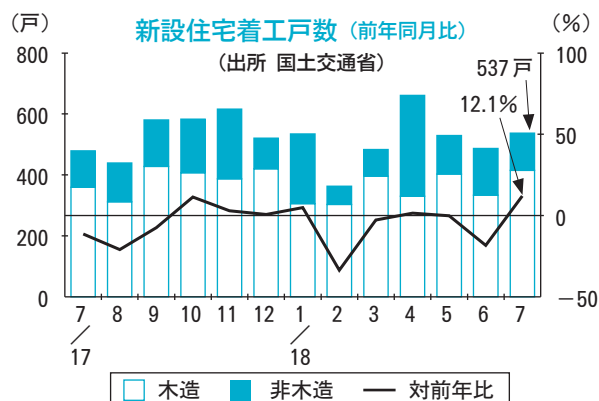
百貨店・スーパー販売額は前年同月比6か月連続の減少



- 7月の百貨店・スーパー販売額（速報値、全店ベース）は前年同月比2.4%減の18,936億円で、6か月連続の減少。
- 8月の乗用車販売台数は同3.4%増の3,099台と、3か月ぶりの増加。普通乗用車は同8.5%増、小型乗用車は同15.4%減。軽乗用車は同16.1%増となった。

2 住宅着工

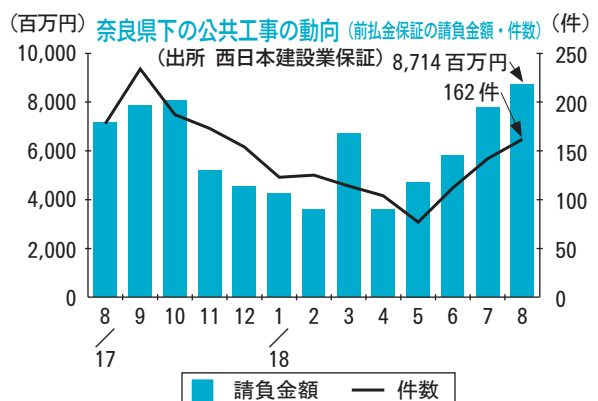
新設住宅着工戸数は前年同月比3か月ぶりの増加



- 7月の新設住宅着工戸数は前年同月比12.1%増の537戸と、3か月ぶりの増加。
- 利用関係別にみると、持家は同5.3%増の240戸と2か月ぶりの増加、貸家は同14.8%減の115戸と6か月連続の減少、分譲住宅は同51.7%増の176戸と4か月連続の増加。

3 公共投資 (西日本建設業保証の保証取り扱い)

公共工事請負金額は前年同月比2か月連続の増加

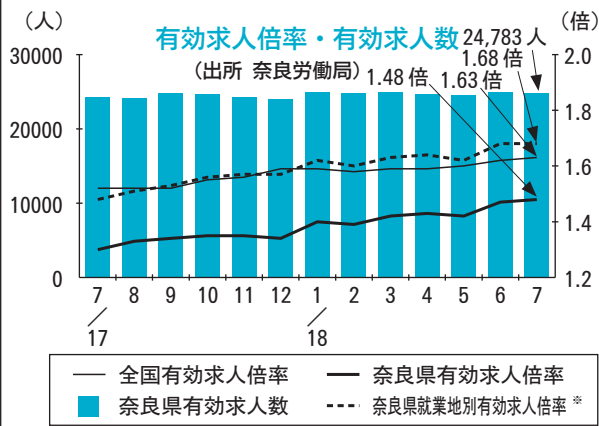


- 8月の公共工事請負金額の動向をみると、全体では前年同月比21.7%増の87億14百万円と、2か月連続の増加。
- 発注者別にみると、国は前年同月比117.9%増、独立行政法人等は60.5%減、県は同23.6%増、市町村は同29.5%減、その他の公共的団体は同2112.7%増。

4

雇用情勢

有効求人倍率は前月比 0.01 ポイント上昇の 1.48 倍



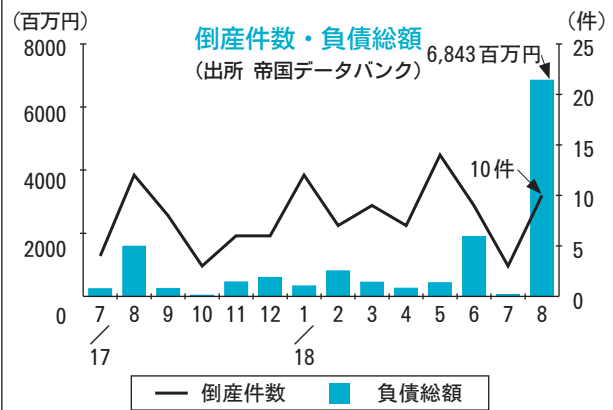
- 7月の有効求人倍率（季調値）は前月比 0.01 ポイント上昇の 1.48 倍となり、2か月連続の上昇。前年同月比は 0.18 ポイント上昇。
- 新規求人倍率（季調値）は、前月比 0.23 ポイント低下の 2.09 倍と 3か月ぶりの低下。前年同月比は 0.13 ポイント上昇。

※実際の就業地が奈良県内の求人の倍率

5

企業倒産

倒産件数は 3 か月ぶりの二桁台

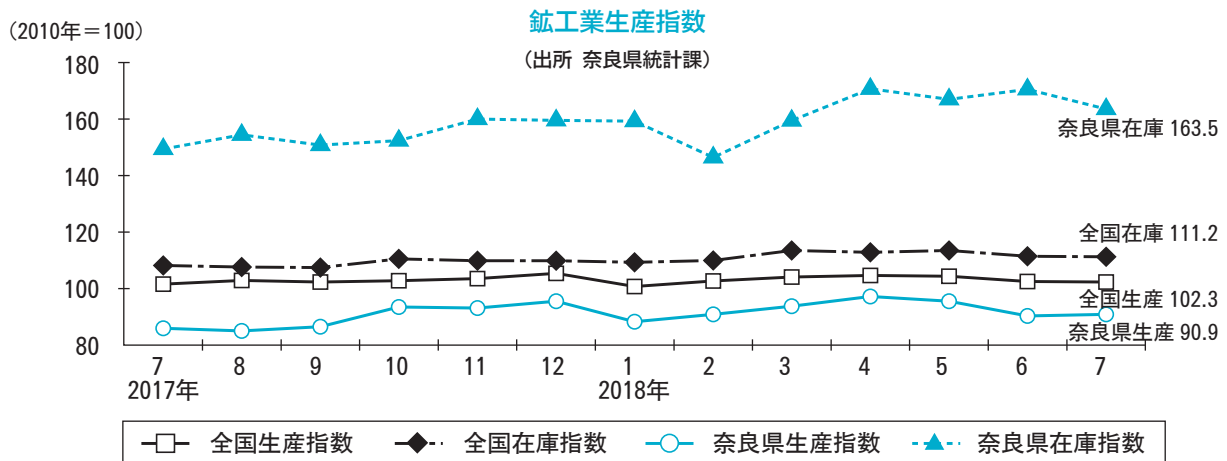


- 8月の倒産状況をみると、件数は前年同月比 16.7%減の 10 件となり、3か月ぶりの二桁台。
- 負債総額は同 331.7%増の 68 億 43 百万円と 2か月ぶりの増加。業種別では、建設業が 5 件、小売業が 3 件、製造業、運輸・通信業が各 1 件。倒産形態では、全てが自己破産であった。

6

生産活動

鉱工業生産指数は前月比 3 か月ぶりの上昇



- 7月の鉱工業生産指数（季調値、速報値）は、前月比 0.7%上昇の 90.9 となり 3か月ぶりの上昇。原指数は前年同月比 7.0%上昇の 91.4 となり 10か月連続の上昇。在庫指数は前月比 4.1%低下の 163.5 となり 2か月ぶりの低下。

- 業種別生産指数の動きは、一般機械工業、食料品・たばこ工業、プラスチック製品工業などの 8 業種が前月比上昇となる一方、輸送機械工業、その他製品工業、非鉄金属工業などの 9 業種が同低下。